

# 平成 30 年度看護補助者研修計画書

目的：患者の高齢化、重症化に伴い看護補助業務の重要性が高まる背景を踏まえ、看護補助者がチームの一員として、安全で適切に業務を遂行できる、または看護職員をはじめとする医療関係職と円滑に協働できる補助者の育成を図る。

時期	テーマ	担当者	学習目標	学習内容	方法
4月	医療・看護の動向を知り、介護ニーズに対応できる目標立案を行う	看護部長	医療を取り巻く変化を知り、良質な医療・介護を継続的にチームで提供するための目標立案を理解できる。	1. 病院を取り巻く環境の変化と医療・看護の動向 2. H30年度 看護部目標と目標管理シート	講義
7月	清潔・不潔のゾーニングを理解し、行動できる	感染対策委員に依頼	・感染対策のゾーニングを理解し補助者の日常業務に活かせる。	日常の補助業務でここが疑問の感染対策（今さら聞けない感染対策）	講義
11月	認知機能障害による症状が落ち着くための介入	認知症対応向上研修修了者	患者理解のためのコミュニケーションを知り、生活パターンから介入出来る補助者のやり方を検討できる。	1. 患者理解のためのコミュニケーション 2. 認知機能障害を予測した情報収集とは 3. 入院前の生活パターン 4. 認知機能障害による症状が落ち着くための介入	講義 GW
2月	患者様に安心した療養生活を提供するための接遇	補助者教育委員	昨年 ES 調査で良い職員に選出された看護職員から接遇の心掛けを学び、個々の接遇に活かす。	・ インストラクターによる良い接遇と残念な接遇 ・ ロールプレイを通して明日からできる接遇を考える	ロールプレイ 研修

2018年3月15日作成